2020 年 06 月吉日

「SIRCAD（Ver5）」から「SIRCAD（Ver6）」のバージョンアップで追加された主な機能

株式会社ソフトウェアセンター

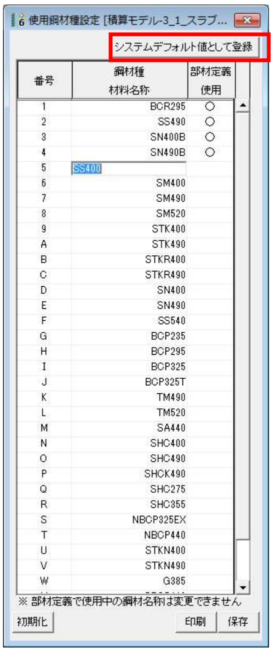
1．建物形状

①ダミー階

『Super Build®／SS7』で定義したダミーフロアを取り込むことができます。

2．部材定義

①鋼材種を登録可能



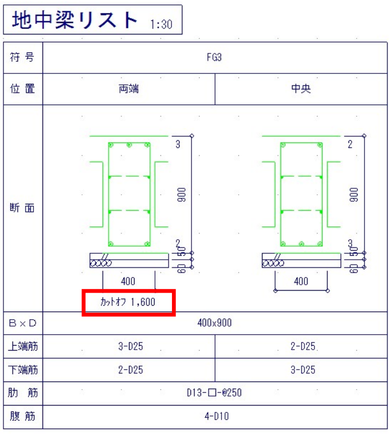
一貫計算データをインポートすると、使用されている鋼材種が上の行にセットされ、「部材定義使用」欄に○が付きます。あらかじめ用意された鋼材種に無い鋼材があれば、自動的に追加されます。

インポートした後に、サフィックスとして、A、B 等を追記することができます。

一般的な鋼材種だけ入力し、「システムデフォルト値として登録」することにより、他の JOB でもその設定で使用できます。

②カットオフ筋

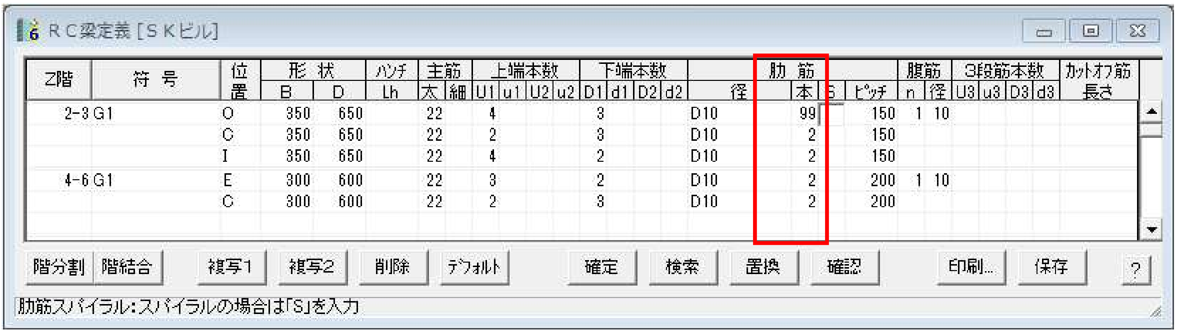
梁の部材定義で、カットオフ筋の長さを指定できるようになりました。
断面リストにも反映されます。また、鉄筋数量にも反映されます。



■帯筋本数

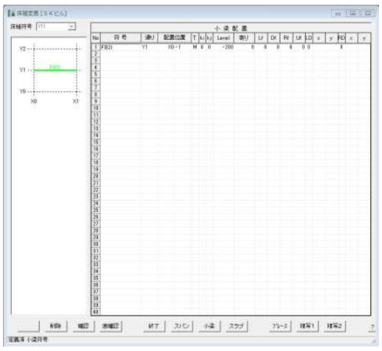
柱定義で、帯筋は９本までしか入力できませんでしたが、９９本まで入力できるようになりました。

■あばら筋本数



梁定義で、あばら筋は９本までしか入力できませんでしたが、９９本まで入力できるようになりました。

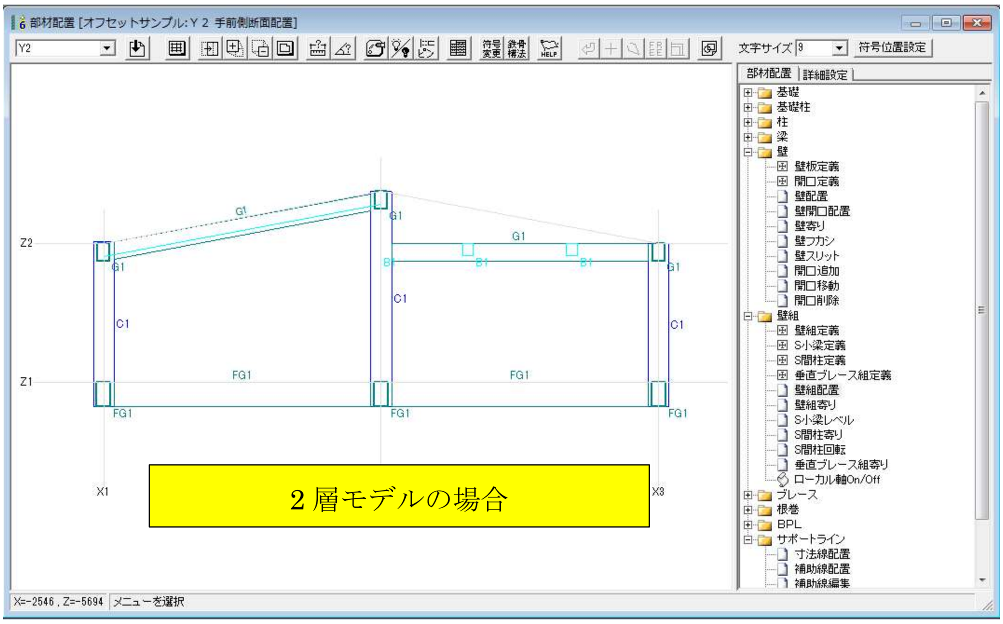
■床組に配置できる小梁数を増設



一つの床組定義で、小梁の配置を 40 個まで配置できるようになりました。

３．部材配置

■部材端部オフセット

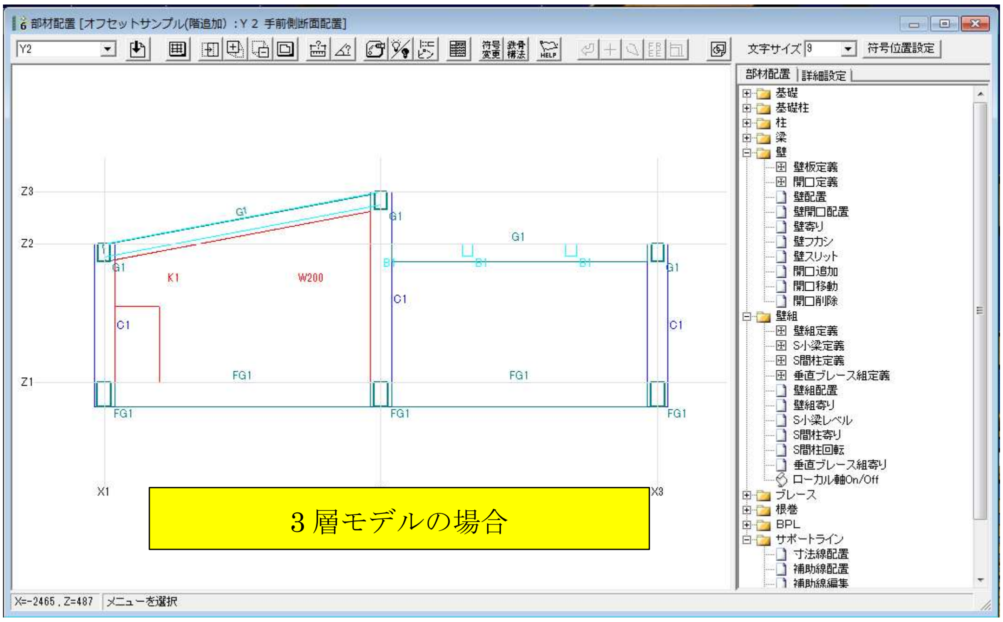


柱、梁、小梁、スラブなど、部材端部のオフセットに（δX、δY、δZ）を設けました。これにより、自由な位置に部材を置くことが出来るようになり、任意形状モデルを構成することができるようになりました。

■個別大梁・個別壁の自由配置

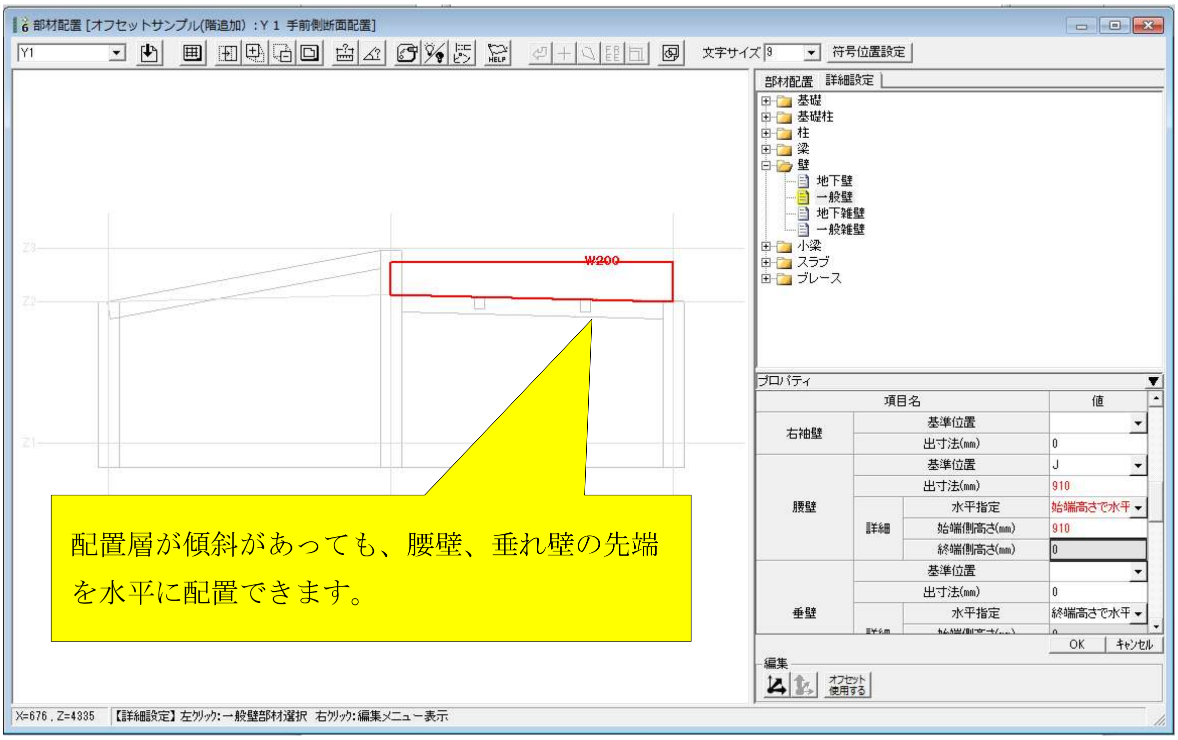
個別大梁・個別壁がフレーム上でも入力できるようになりました。

■柱・壁・ブレース配置の多層配置



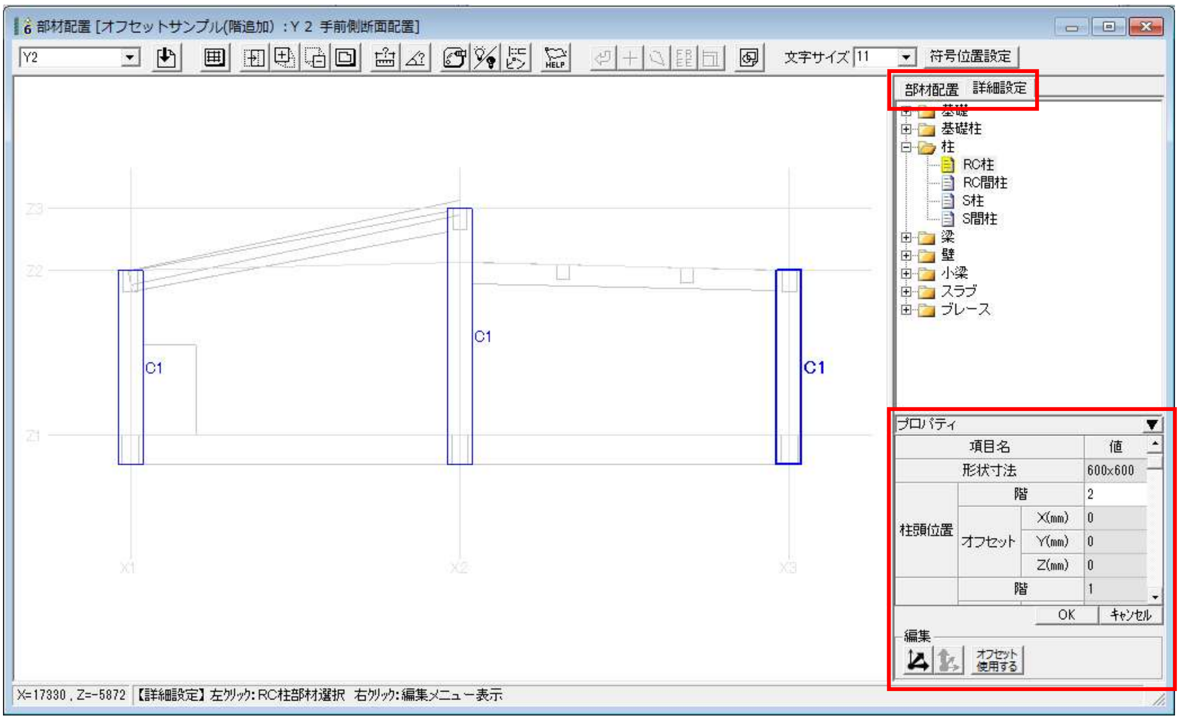
下端レベルおよび上端階・上端レベルが入力できるようになり、多層にまたがる柱、壁、ブレースを配置入力できるようになりました。

■腰壁・垂壁の水平高さ指定



始端または終端で壁高さを指定し、水平に配置できます。

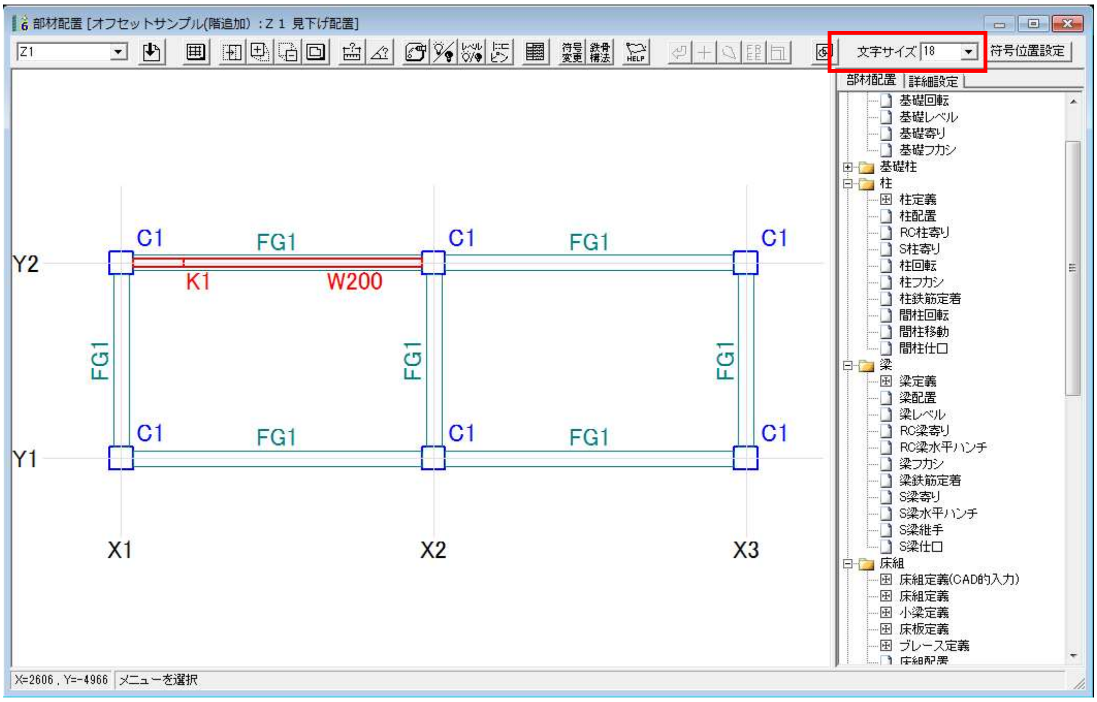
■立面詳細配置

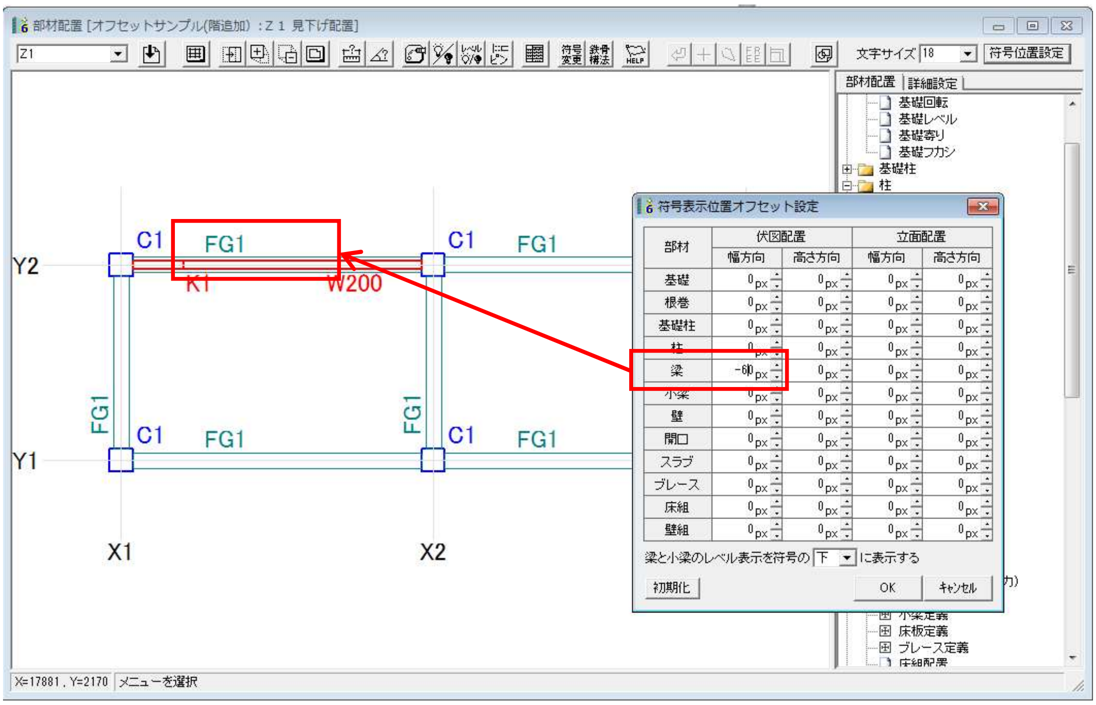


立面での詳細配置ができるようになりました。

※部材をクリックすると、配置情報がプロパティ画面に表示され、編集できます

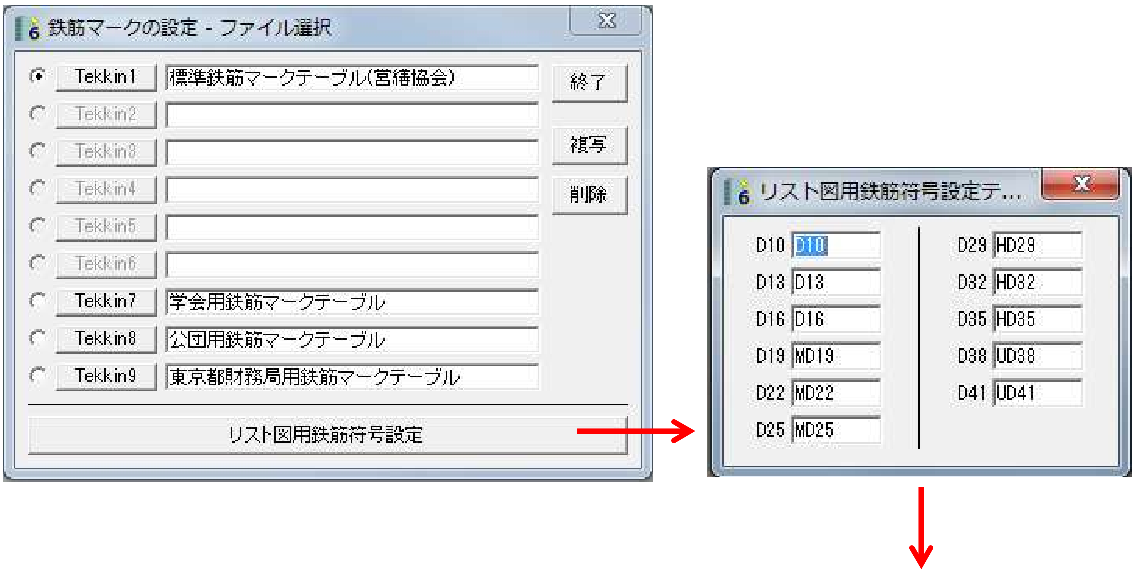
■配置画面で、文字サイズおよび符号の位置指定ができます

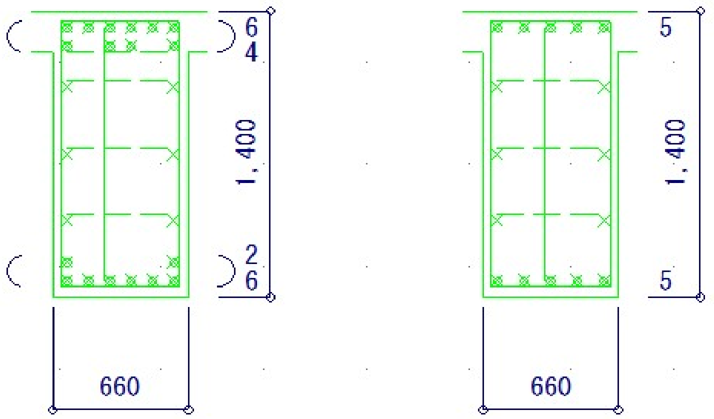




４．作図設定

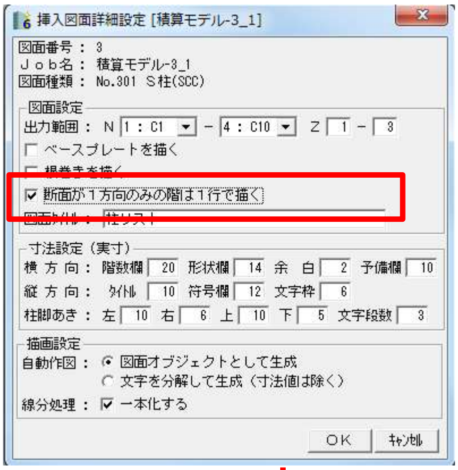
■鉄筋径毎に鉄筋符号を変更できます



階	符 号	G1	
2FL	位 置	両端	中央
	断 面		
	B x D	660x1400	
	上端筋	10-HD35	5-HD35
	下端筋	8-HD35	5-HD35
	肋 筋	0D13-□-@100	
	腹 筋	6-D13	
	鉄 骨		

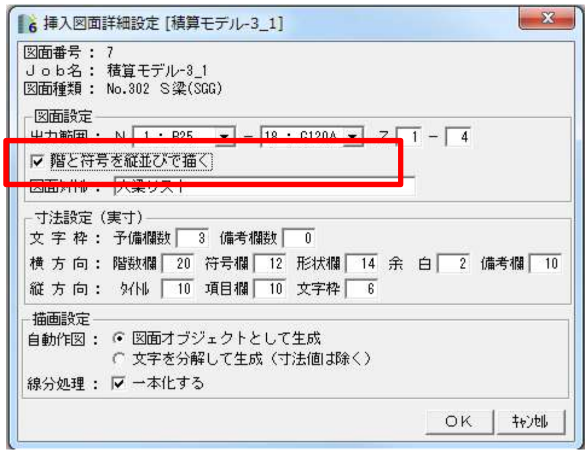
５．作図

■S 柱文字リストは、従来 X,Y の行が常にありましたが、１行で表示する設定を付けました



	C1	C2	C3	C10
R階	□- 500x500x16x16 BCR295	□- 450x450x12x12 BCR295		□- 300x300x12x12 BCR295
2階	□- 500x500x16x16 BCR295	□- 450x450x12x12 BCR295	□- 450x450x16x16 SS490	
1階	□- 500x500x16x16 BCR295	□- 450x450x16x16 BCR295	□- 450x450x16x16 BCR295	

■S 梁文字リストで、階と符号を縦並びで描く設定を付けました

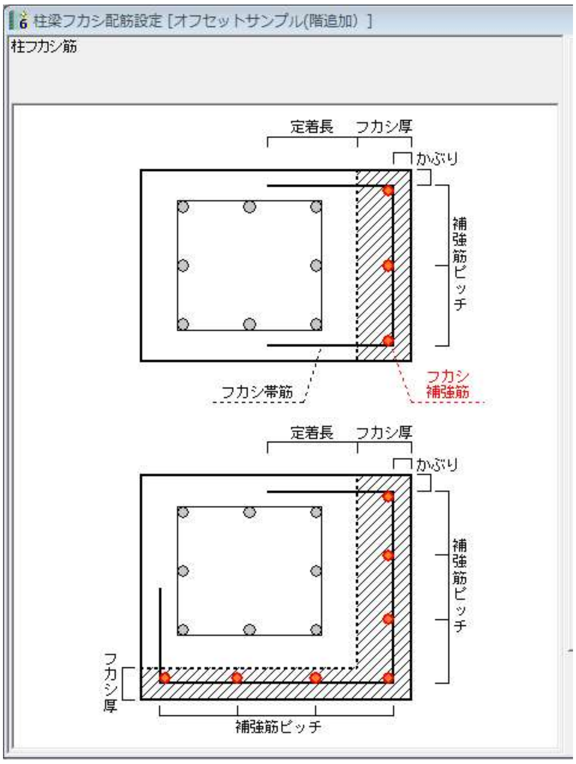


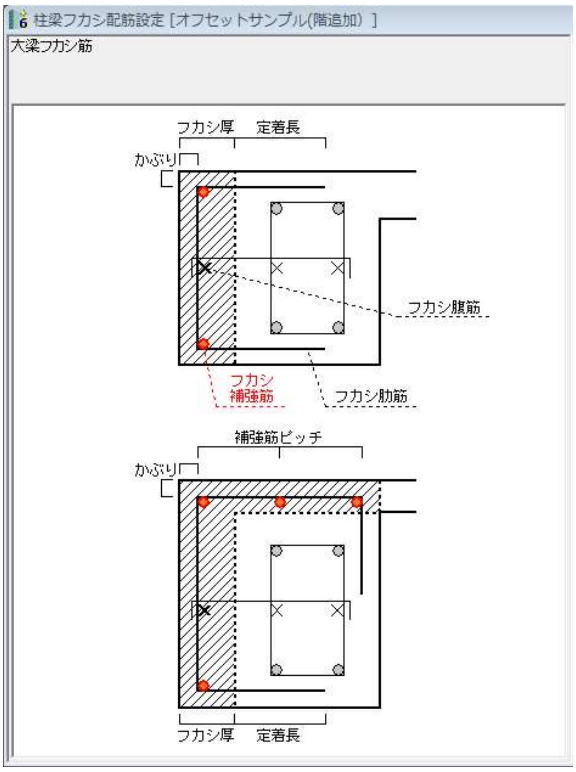
階	符号	位置	断面
PH 階床	G35	全断	H－ 350x175x 7x11 SN400B
	G40	全断	H－ 400x200x 8x13 SN400B
	G48	全断	H－ 488x300x11x18 SN400B
	G50	全断	H－ 500x200x10x16 SN400B
R 階床	G48	全断	H－ 488x300x11x18 SN400B
	G50	全断	H－ 500x200x10x16 SN400B
	G80	全断	H－ 800x300x14x26 SN400B
	G80A	全断	H－ 800x300x14x26 SN490B
	G120A	全断	BH－ 1200x350x19x36 SN490B
2 階床	B25	全断	H－ 250x125x 6x 9 SN400B
	B29	全断	H－ 298x149x5.5x 8 SN400B
	B34	全断	H－ 346x174x 6x 9 SN400B
	B35	全断	H－ 350x175x 7x11 SN400B
	B39	全断	H－ 396x199x 7x11 SN400B
	B45	全断	H－ 450x200x 9x14 SN400B
	B50	全断	H－ 500x200x10x16 SN400B
	B59	全断	H－ 596x199x10x15 SN400B
	CG39	全断	H－ 390x300x10x16 SN400B
	G48	全断	H－ 488x300x11x18 SN400B
	G70	全断	H－ 700x300x13x24 SN400B
	G70A	全断	H－ 700x300x13x24 SN490B

6．数量

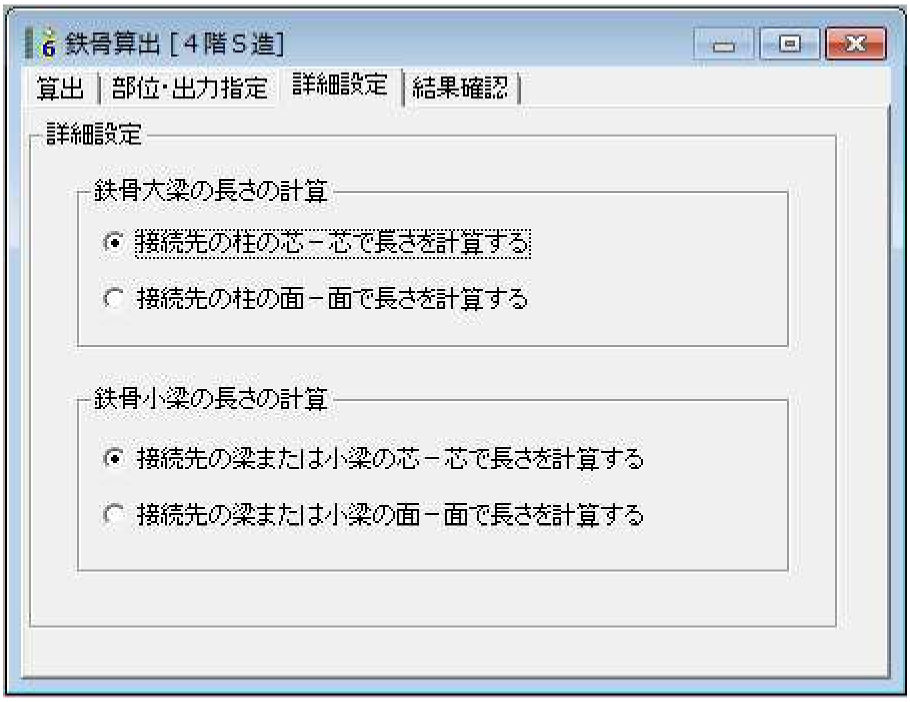
■フカシ筋

柱梁のフカシ筋を設定し数量を算出できるようになりました。





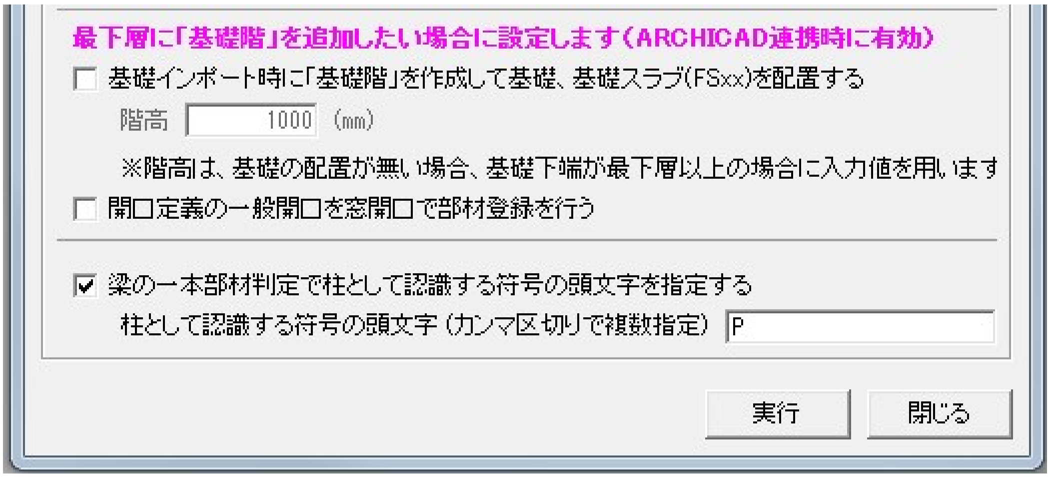
■鉄骨梁



長さを「芯ー芯」または「面ー面」で計算できるようになりました。

７．データ変換

７－１．From SS7 To SIRCAD6（オプション）



以下の機能を追加しました。

① 最下層に「基礎階」を追加する

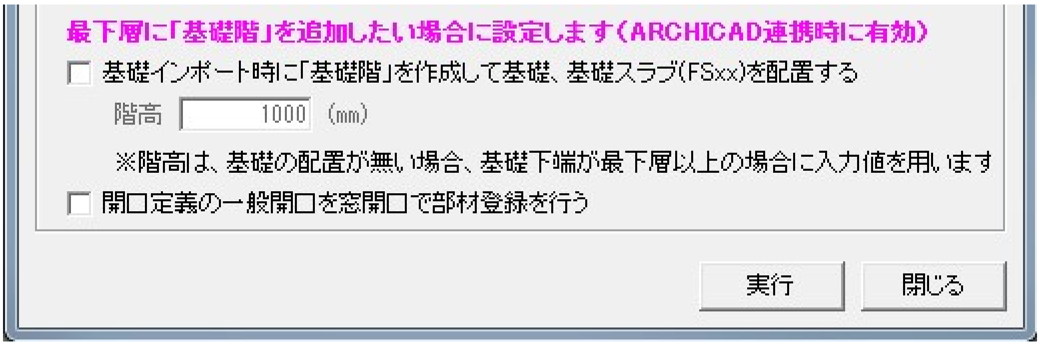
・基礎階を自動的に追加し、基礎、基礎スラブのみ、その階に配置します

② 一般開口を窓開口として変換する／しないが選択できます

③ 梁の一本部材判定で、柱として認識する符号の頭文字をして可能です

・間柱を柱としてモデル化して解析した場合に有効です

７－２．From CREA To SIRCAD6



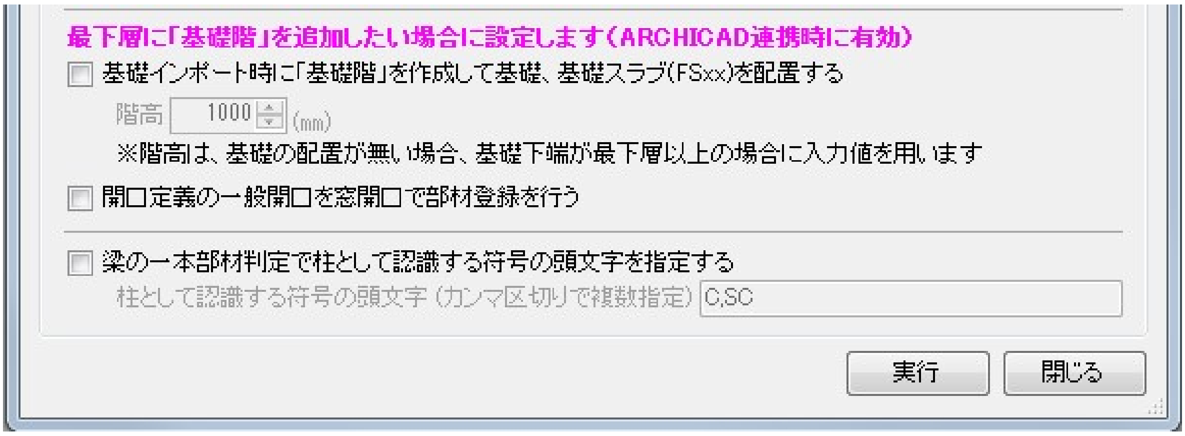
以下の機能を追加しました。

① 最下層に「基礎階」を追加する

・基礎階を自動的に追加し、基礎、基礎スラブのみ、その階に配置します

② 一般開口を窓開口として変換する／しないが選択できます

７－３．From ST-Bridge To SIRCAD6



以下の機能を追加しました。

① 最下層に「基礎階」を追加する

・基礎階を自動的に追加し、基礎、基礎スラブのみ、その階に配置します

② 一般開口を窓開口として変換する／しないが選択できます

③ 梁の一本部材判定で、柱として認識する符号の頭文字をして可能です

・間柱を柱としてモデル化して解析した場合に有効です

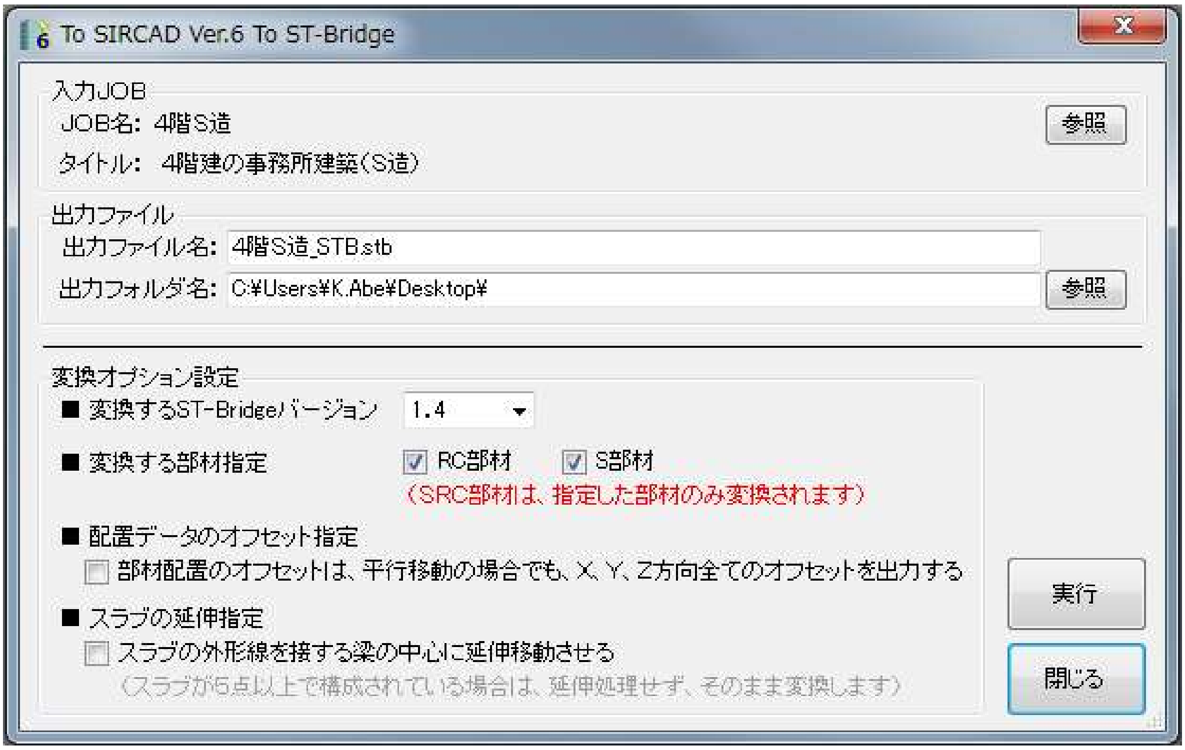
④ ST-Bridge（Ver1.4）および ST-Bridge（Ver2.0.1）を自動判別してインポートできます

７－４．From SIRCAD Ver6 To SNAP（オプション）

SNAP（構造システム）の最新のテキスト形式（Ｓ７ｉ）に対応しました

変換する部材を選択可能にしました

７－５．From SIRCAD Ver6 To ST-Bridge



出力するST-Bridgeバージョンを（Ver1.4）または（Ver2.0.1）のどちらかを選択できます

８．その他

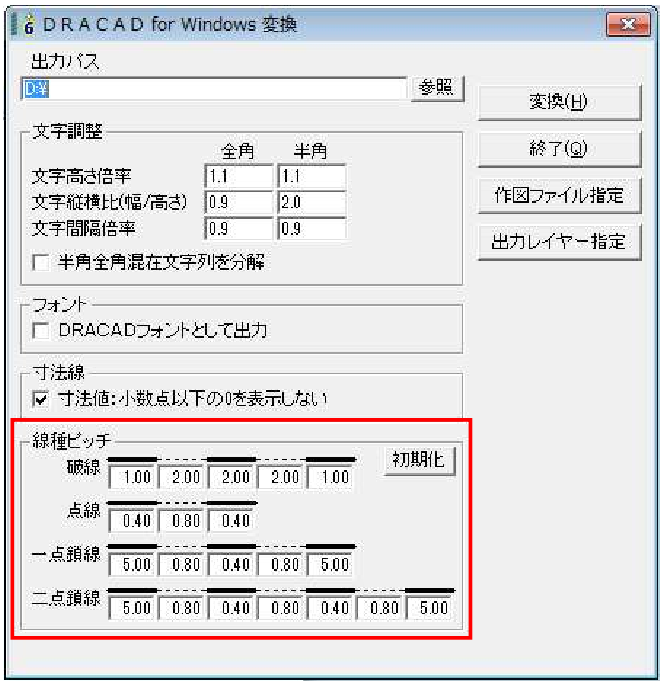
■部材表示色設定の保存

部材表示色設定をファイル保存できるようになりました

・名前を付けて色設定を保存

・名前を付けた色設定から読み込み

■DRA-CAD 出力での線種ピッチ設定



線種ごとにピッチを指定して出力できるようになりました。